

## 「いにしえ倶楽部」と「連続講座」を開催しました。

島根県埋蔵文化財調査センターでは、文化財をより身近に感じてもらうことを目的とし、出土品などを活用して文化財講座「いにしえ倶楽部」を開催しています。

### ●「みがいてつくろう！古代の鏡」

ミニチュア金属鏡を磨き、顔が映るようなピカピカに光る鏡をつくりました。（8月17日埋文センターにて）



◀今年はこれまでよりもひとまわり大きい「三角縁神獣鏡モデル」の鏡を作るので、磨き作業も一段と大変になりました。

### ●連続講座「震災からの復興と文化財」

島根県は東日本大震災復興関連事業に伴う発掘調査に、平成24年度から3人の職員を派遣しています。被災地での発掘調査の様子を報告し、復興における遺跡や文化財の持つ意味を考えました。（7月6日埋文センターにて）



◀平成25年度に宮城県に派遣した職員が、1年間従事した被災地での調査について報告をしました。

### 【平成26年度の連続講座】

- 第1回 7月「震災からの復興と文化財」
- 第2回 1月「発掘された石見焼」
- 第3回 2月「出雲の弥生時代後期を考える」

## 刊行案内

### ●発掘成果をわかりやすく紹介『シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット』

当センターでは、最新の調査成果を分かりやすくまとめた「シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット」を刊行しています。このたび最新刊「西川津遺跡」を刊行しました。ご希望の方には無料で配布しています（送料別途必要）。



### ●最新刊です！

一般国道9号改築工事に伴う発掘調査報告書を2冊刊行しました。平成22年度から24年度にかけて大田市内で行った、古墳時代の集落遺跡や県西部石見地方最大級の前期・中期古墳群の成果をまとめたものです。県内の図書館や文化財関係施設等に配布しました。



一般国道9号（朝山大田道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2  
市井深田遺跡・荒瀬遺跡・鈴見B遺跡1区

一般国道9号（仁摩温泉津道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書5  
庵寺古墳群Ⅱ・大迫ツリ遺跡・小釜野遺跡

## まいぶん 出土遺物カード09

### ●山持遺跡の卒塔婆（出雲市西林木町）

山持遺跡では中世の湿地跡から巨大卒塔婆群が発見されました。卒塔婆は死者の供養のために作られたもので、山持遺跡で見つかった卒塔婆のほとんどは丸太の一部を平らにして墨書した「柱状卒塔婆」と呼ばれる種類のものです。

写真の卒塔婆は、現在の水田面から約1.5m掘り下げたところで、ほぼ水平の状態で出土しました。このうち最も大きな卒塔婆は、全長4.2mもあり、国内でも最大規模です。また、年代も県内最古級の室町時代のものと考えられます。

これらの卒塔婆は湿地の周辺部や川のほとりに立て並べられていたものと考えられます。



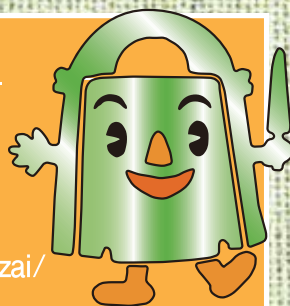
島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器  
まいぶん

No.56

発行：平成26年9月

編集・発行  
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター  
〒690-0131 松江市打出町33  
TEL.0852-36-8608 FAX.0852-36-8025  
E-mail: maibun@pref.shimane.lg.jp  
http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/



わかりやすい！島根県の埋蔵文化財情報が満載！

島根県の埋蔵文化財情報誌

ドキ土器

No.56

まいぶん



まいぶんくん



巨大な近代の連房式登り窯跡

### 輝く石見ブランド 施釉瓦

島根県西部石見地方には、都野津層とよばれる粘土層が厚く堆積しており、近世以降盛んに陶器や瓦が生産されました。松江市宍道町で採掘される来待石の粉を釉にした「赤瓦」は、丈夫で寒さに強く、莫大な数が生産され、現在の石州瓦の礎となりました。



### 石見地方が誇る地場産業の痕跡

#### ① 城ヶ谷遺跡（大田市久手町）

一般国道9号（朝山大田道路）建設に伴い8月から発掘調査を行っています。瓦を生産した巨大な登り窯と工場跡、失敗品を廃棄した「物原」が良好に残されており、当時の窯場の様子が良くわかります。また、物原からは、様々な瓦や窯道具の他に、「丸物」と呼ばれる石見焼の壺や鉢を焼成する時に使う焼台も出土しており、石見焼を生産した時期があった可能性が考えられます。

近世以降に石見地方で行われた施釉瓦の生産。その広大な分布域の中でも、最も東側に位置する窯場の調査としても注目されます。

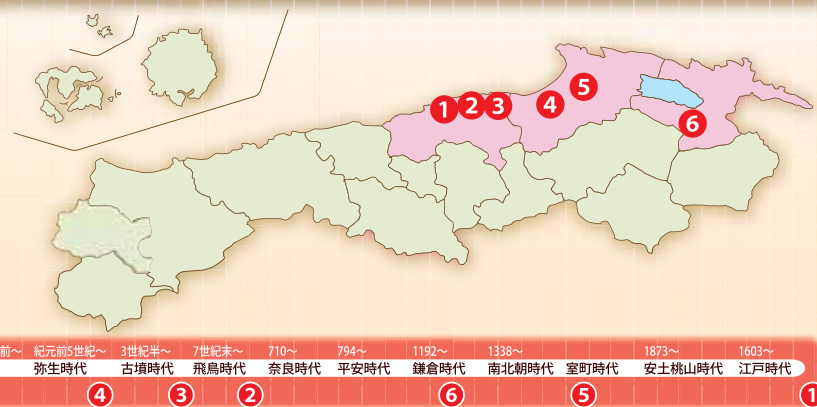
■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

MAP





# 島根県の最新発掘情報 平成26年度発掘調査ガイド



●発掘調査中の遺跡には、深い穴や急傾斜地など危険な場所があります。事故などのおそれがありますので、くれぐれも無断で立ち入ることがないようにお願いします。  
■掲載した遺跡についての問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

## 石見地方初！古代の製鉄用炭窯を発見

### ②神谷遺跡（大田市久手町）

一般国道9号（朝山大田道路）建設に伴い6月から8月にかけて発掘調査を行いました。旧波根湖を望むこの遺跡で、7世紀後半から8世紀前半にかけて操業したと考えられる、大型の炭窯が4基発見されました。今回発見された炭窯は、複数の横口を設けた横口付炭窯と呼ばれる種類のものです、主に製鉄用の炭を生産したと考えられています。急斜面に長さ6～9mの細長いトンネルを掘って造られています。炭窯の中には炭が残されており、当時の製炭の様子がよく分かります。

#### MAP



横口付炭窯の想像図



横口付炭窯（中央の黒い溝）

## 旧波根湖南岸の丘陵上に築かれた横穴墓群と採石跡

### ③大西大師山遺跡（大田市久手町）

一般国道9号（朝山大田道路）建設に伴い6月から発掘調査を行っています。標高約70mの丘陵一帯に位置する遺跡で、丘陵頂部に凝灰岩が露出しており、そこに古墳時代の横穴墓がいくつも掘られています。今年度の調査区では、これまでに古墳時代終り頃の横穴墓を7基確認しています。横穴墓は加工しやすい岩を丁寧に掘り込んでおり、玄室と呼ばれる遺体を納める部屋や墓の入口では、土器や耳飾りなどが出土しています。この凝灰岩は、その後盛んに採掘されており、横穴墓の中には採石によって天井や壁を大きく削られたものも見つっています。写真の採石跡の壁面には、工具の跡がびっしりと残されていました。大西大師山遺跡の発掘調査は今後も継続して行いますのでご期待ください。



大規模な採石の跡



調査区遠景



横穴墓の調査

## 丘陵上の弥生時代集落

ぎょくせんじうらいせき

### ④玉泉寺裏遺跡（出雲市東神西町）

出雲市東神西町にある玉泉寺裏遺跡は、一般国道9号（出雲湖陵道路）建設に伴い5月から発掘調査を行っています。今回の調査では弥生時代の集落跡が見つかりました。見つかったのは、住居跡や斜面を段状に加工した平坦面などです。見つかった住居の中には建て替えを行ったものもあり、一定期間丘陵上にムラが営まれた様子がわかります。玉泉寺裏遺跡では、平成17年に行った県道出雲インター線建設に伴い発掘調査で、弥生時代終わり頃の墓や多数の土器が見つっています。今回の調査によって当時のムラの様子がより詳しく明らかになりました。

#### MAP



調査区近景



建て替えをした住居の跡



建物跡の調査風景

## 室町時代の大型建物群

たか はまいち い せき

### ⑤高浜Ⅰ遺跡（出雲市里方町）

県道矢尾今市線改築に伴い5月から発掘調査を行っています。これまでに室町時代の大小300以上の柱穴や、土地を区画する大型の溝、土器などが見つかりました。高浜Ⅰ遺跡は、県道斐川・出雲大社線の北側から一畑電鉄大社線の南側にかけて広範囲に広がる遺跡です。平成22年度の発掘調査では、鎌倉時代から室町時代にかけての有力者の館跡や多数の出土品が見つかり、なかでも全国最古となる将棋盤と将棋の駒は注目されました。現在発掘調査は約半分が終了したところで、今後の調査成果が期待されます。



大型の溝



見つかった多数の柱穴

## 古代出雲の中心地で謎の土坑群

かわ はらのみや に い せき

### ⑥川原宮Ⅱ遺跡（松江市大庭町）

国道432号道路（大庭バイパス）改築工事に伴い6月から発掘調査を行っています。現在までに川の跡と多数の大きな穴が見つっていますが、詳しい時期や機能については不明です。出土品は、弥生時代から中世にかけての遺物が出土しており、特に中世の陶磁器や土器が多くみられます。9月以降からは、古代山陰道の推定地がある部分の調査を行う予定で、今後の発掘成果が期待されます。

#### MAP



土坑群と旧河道



出土品